

コレクティブインパクトリーダー 第9期

コレクティブインパクトリーダー第9期の参加者を募集します。

1. コレクティブインパクトリーダープロジェクトとは

「社会や地域の課題を自分ごととして捉え、ICT を活用し、企業や自治体をつなげ、新たな価値を創造する」共創型リーダーシップを持つ人材を創出するプロジェクトです。各企業・団体から集まったチームメンバーと共に 5G・IoT で広がる未来をデザインすることで、つながる力や ICT 活用による社会課題解決の実践力を養います。



2. 開催概要

期間中5回のワークショップに参加していただきます。

また、期間中に1回、情報通信業界の企業と連携して開催する5G・ローカル5G/ICTに関する勉強会に参加していただきます。

有識者講演、先進事例講演による知見を深めるインプット、各チームでのグループワークにより地域課題解決に向けたソリューションをデザインし、コンセプト発表をするアウトプットを行います。

【活動期間】

2025年12月～2026年3月まで

【活動場所】

都内各所、一部の日程はオンライン開催（Zoomを使用）

【参加資格】

✓ ICTを活用して企業や自治体をつなげ、新しい価値を創出したいという思いがある方。

- ✓ 企業・団体に所属する方。※各企業・団体からの推薦により参加登録いただきます。1企業・団体あたり2名までのご登録が可能です。なお、2名ご参加の場合はジェンダーや年代が異なる方となるよう、企業・団体でご調整の上、お申し込みください。また、過去にコレクティブインパクトリーダー（もしくは過去事業の5G・IoTデザインガール）であった方（卒業生と呼びます）の参加は原則できません。
- ✓ ワークショップ（5回開催）の参加と、ワークショップ各回の間での自主作業（月に5時間程度）が可能なこと。
- ✓ 約4ヶ月間の活動に継続して参加できること。
- ✓ 第2回、第4回はオンラインで開催されるため、オンラインで参加できる環境を各自で用意できること。
- ✓ 社用スマートフォンまたはプライベート利用のスマートフォンに、コミュニケーションツールとして利用するSlackアプリをダウンロード可能なこと。
- ✓ ワークショップで利用するツールにアクセスできること。なおツールは、「Zoom」で受講しながら、チームごとの検討には「Google Workspace」を併用します。「Google Workspace」の中では、ファイル共有を行う「Google ドライブ」、ワークの共同作業を行う「Google スライド」「Google スプレッドシート」「Google ドキュメント」を使用いたします。また、参加者同士のコミュニケーションには、「Slack」を利用します。企業・団体からの貸与端末に上記のツール類の利用制限がかかっているかを事前に必ずご確認の上、利用が難しい場合は個人端末での参加をご検討ください。各ツールの利用方法については事前にレクチャーを実施いたしますので、ご安心ください。
- ✓ Google Workspace へのアクセス可否は[こちらの URL](#) からご確認ください。「0.アクセス確認用フォルダ」という Google ドライブ内のフォルダが表示されましたら、アクセス可能です。
- ✓ Slack へのアクセス可否は[こちらの URL](#) からご確認ください。Slack のログインページに遷移できるようでしたら、アクセスに問題はございません。

【募集人数】

40名程度

【募集期間】

2025年11月6日(木)～2025年12月10日(水)

（申込多数の場合は、早期に募集を締め切らせていただく可能性がございます）

【応募方法】

以下の URL よりお申し込みください

URL: https://select-type.com/ev/?ev=4eLJDidzKqA&w_flg=1

【主催】

総務省（事務局：一般社団法人 incri）

3. 活動詳細

- 2025年12月から2026年3月まで約4ヶ月間の活動に継続して参加する必要があります。
- 1チーム5～7名程度のチームに配属となり、期間中は配属チームで作業を進めます。

- 各チームで社会課題解決に向けたソリューションをデザインし、最終回にてコンセプト発表を行います。
- 開催時間は毎回 13:00～17:30 を基本とし、期間中に 5 回のワークショップを開催します。各回前半（14:30 前後まで）は 5G・IoT、経済、法律、デザイン思考などの第一線で活躍する有識者による講演を聴講する「インプット」を実施し、5G・IoT などの最新技術動向や、社会課題への関心を深めます。後半は、参加者自らが考える「アウトプット」の時間として、約 4 ヶ月を通し、コンセプトデザイン作業をチームで実施していただきます。
※参加者同士のコミュニケーションには、Slack を利用します。
※ワークショップには、Google Workspace を活用します。
- プログラムの日程及び内容は募集時点の予定であり、やむを得ない事情により変更となる場合がございます。今後の開催予定については決定次第、お知らせします。

スケジュール

※11月14日 第3回の会場情報更新

日程	会場	内容	
第1回 12月12日	三菱電機本社	【講演】 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主幹研究員、情報システム学会名誉会長 砂田薫氏	グループワーク （チームビルディング、テーマ検討） ※PC 要持参
		グループ作業①	
第2回 12月22日	Zoom 開催	【講演】 琉球大学工学部知能情報コース 教授 H2L 株式会社創業者・代表取締役社長 玉城 絵美氏 knots associates 株式会社 取締役 COO 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任講師 渡辺 今日子氏	グループワーク （コアユーザー検討、アイデア検討）
		グループ作業②	
第3回 1月19日	国立研究 開発法人 情報通信 研究機構 (NICT) Innovation Bridge @ TOKYO	【特別勉強会】 東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 教授 中尾 彰宏氏 日本電信電話株式会社 チーフエグゼクティブフェロー 元代表取締役副社長 川添 雄彦氏 Creww 株式会社 取締役 COO 水野 智之氏 株式会社 TIMEWELL 共同創業者 兼 代表取締役 CEO 信州大学特任准教授 濱本 隆太氏	グループワーク （プロトタイプ計画） ※PC 要持参
		グループ作業③	

<p>第4回 2月10日</p>	<p>Zoom 開催</p>	<p>【講演】 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授 穴戸 常寿 氏 株式会社 Flora 代表取締役 CEO アンナ・クレシェンコ 氏</p>	<p>グループワーク (アイディアブラッシュ アップ)</p>
		<p>グループ作業④</p>	
<p>第5回 2月24日</p>	<p>NEC 本社</p>	<p>【最終発表会】 ※PC 要持参</p>	

- ✓ グループ作業①～④は各グループでの自由作業となります。最終発表に向け、作業分担を行い資料作成などを実施していただきます。
- ✓ これまで多くのグループが独自にミーティングを開催したり、必要に応じて視察やヒアリングなどを実施したりしています。自由参加ですが、一定の作業負荷が発生することをご了承ください。また、勤務時間外の作業に依存しすぎないよう、企業・団体各位には作業時間確保にご配慮をよろしくお願いいたします。
- ✓ どの程度の作業時間を確保するか、視察等の活動を行うかについては各グループの独自判断に依存します。グループ内で協議のうえ決定してください。集合性のミーティングが難しい場合に備えて Slack を準備しています。チャットによる議論やファイル共有などが可能ですので、積極的にご活用ください。

注意、免責事項

コレクティブインパクトリーダー（以下、「本プロジェクト」という）参加応募者は、以下の事項に同意いただいたものとみなします。

1 成果物の著作権等

本プロジェクトにおいて参加者が作成した文章、スケッチ、図、写真、音声、動画、その他一切の成果物（以下「成果物」といいます）に関する著作権（著作権法第 27 条および第 28 条の権利その他の権利を含みます）、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利も含むものとし、以下、合わせて「知的財産権」といいます）その他一切の権利は、作成した参加者自身に帰属します。ただし、本プロジェクト終了時に合理的な方法により連絡が取れない参加者は、成果物に関する知的財産権その他一切の権利を放棄したものとみなします。ただし、最終発表会に提出した発表資料については第 4 項の通りとします。

2 アイデア

本プロジェクトにおいて参加者が提供したアイデア（コンセプトおよびノウハウ等を含みます）は、そのアイデアを提供した参加者から第 3 項に定める申出および参加者による権利化がなされないかぎり、人類の共有財産（パブリックドメイン）として、他の参加者を含めた第三者が、無償で自由に利用することができます。

3 終了後の整理

第 2 項、第 4 項に定める共有に関して特別の取扱いを希望する参加者は、本プロジェクト終了後 7 日間以内に主催者に申し出を行い、その対応について協議するものとします。

4 公開

主催者、本イベントを共催、協力した者、ゲスト及び講師（以下「主催者等」といいます）は、広告宣伝または研究目的のために、本プロジェクト実施状況を記録した写真、音声、動画等をウェブサイト（SNS を含む）やチラシ、パンフレット等の宣伝販促物に掲載する等、公開することができます。

また、参加者が作成し審査発表会に提出した発表資料について、広く地域課題解決の発展に資するため、主催者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際（CC BY）に従い、公開することができます。参加者は、発表資料の作成において他の資料からの引用その他の行為を実施するに際して、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際（CC BY）での公開に抵触しないよう確認その他必要な処置を講じるよう努めるものとします。

ただし、権利を有する参加者から、第 3 項にしたがって成果物に関する情報を公開しないよう申出があった場合には、主催者等は成果物の公開を延伸する等、参加者の権利化のために適切な措置を講じるよう努めるものとします。

5 参加者の秘密情報

参加者は、第 2 項から第 4 項までに定める本プロジェクトにおけるアイデアおよび成果物の取扱いを十分に理解したうえで、秘匿しておきたい秘密情報を本プロジェクトにおいて提供しないようご注意ください。ただし、参加者がそのような秘密情報を本プロジェクトに対し提供することを希望する場合には、事前に主催者に通知し、その対応について協議するもの

とします。

6 勧誘行為の禁止

ワークショップ開催会場その他、本プロジェクトに関連する場所において、勧誘行為またはそれに値する行為は禁止とします。

7 権利侵害の禁止

参加者は、本プロジェクトにおける制作活動に関し、法令および公序良俗に違反せず、また、第三者の知的財産権その他一切の権利を侵害してはならないものとします。

また、各種視察、ヒアリング等の実施に際して参加者は視察、ヒアリング先等の知的財産権その他一切の権利を侵害してはならず、故意または過失により視察、ヒアリング先等になんら損害を与えないよう最大限の注意をするものとします。

8 費用負担

本プロジェクトの参加費用は無料とします。ただし、ワークショップ参加やヒアリング実施等に係る旅費・交通費等の実費は参加者の負担とします。また、ワークショップ実施後の有志による交流会等に係る会費等は自己負担とします。

9 免責

本プロジェクトに参加中の事故により参加者が生命身体もしくは財産上の損害を被った場合、その損害は参加者自身が負担し、主催者に何ら請求してはなりません。ただし、主催者にその損害の発生について故意または重過失が存在する場合はこの限りではありません。

ワークショップ時間外のグループ活動、各種視察、ヒアリング等の活動における事故等の損害も上記に準じます。

10 責任

参加者が以上の各項の定め違反し、主催者または第三者に対し損害を与えた場合は、自らの責任と負担によりこれを解決し、主催者に対し何ら負担をさせず、損害の賠償等を請求しません。

【本件に関するお問い合わせ先】

コレクティブインパクトリーダー事務局

info@incri.or.jp